



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月13日

上場会社名 GMOプライム・ストラテジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5250 URL <https://www.prime-strategy.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉政 忠志
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 城塚 紘行 TEL 03（6551）2995
 半期報告書提出予定日 2026年7月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年12月1日～2026年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	470	8.7	63	△8.1	64	△6.7	47	△2.5
2025年11月期中間期	432	3.6	68	△29.2	69	△29.3	48	△30.6

（注）包括利益 2026年12月期中間期 48百万円（4.6%） 2025年11月期中間期 46百万円（△35.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	13.47	13.05
2025年11月期中間期	13.80	13.37

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	1,582	1,398	88.4
2025年11月期	1,606	1,422	88.5

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 1,398百万円 2025年11月期 1,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2026年12月期	—	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	22.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,124	—	70	—	72	—	51	—	14.75

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年12月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、新株予約権の行使による影響を考慮しております。

3. 決算期変更の経過期間となる2026年12月期は、2025年12月1日から2026年12月31日までの13か月決算となるため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期中間期	3,565,200株	2025年11月期	3,552,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	40,031株	2025年11月期	40,031株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年12月期中間期	3,514,842株	2025年11月期中間期	3,517,332株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、緩やかな回復基調で推移しているものの、個人消費においては依然として慎重な動きが見られます。一方で、不安定な世界情勢や資源価格の動向、為替相場の変動等、経済の見通しは引き続き先行き不透明な状況が続いております。

かかる状況下において、企業のIT投資意欲は引き続き底堅く推移しており、業界全体の需要は今後も堅調に推移していくものと期待されております。特に近年、多くの企業においてデジタル化や業務効率化への取り組みが加速しており、クラウドや生成AIをはじめとした先端技術の活用に向けた投資も一層広がりを見せていくものと考えております。

こうした市場を背景に、当社は、超高速CMS実行環境「KUSANAGI」をはじめとしたサーバ高速化ソリューション「KUSANAGI Stack」でKUSANAGI Stack事業を展開し、一気通貫でWebサイトの保守・運用を行うKUSANAGIマネージドサービス byGMOの拡大を図っております。人員拡大、営業力強化の施策に加えて、様々なマーケティング施策も実施し、売上拡大を目指しております。またKUSANAGIマネージドサービス byGMOに加えて、KUSANAGI有償版ライセンスの販売についてもマーケティング強化、製品力強化を行っております。さらにAI自動採点ソリューションの提供を開始、「GMO AI RAG」のリリースなど、AI事業においても更なる事業の推進を行っております。

当中間連結会計期間においては、特にKUSANAGIマネージドサービス byGMO関連の売上が好調であり、売上高は前年同期比で増加いたしました。一方で、中長期的な成長・事業拡大に向けた各種費用の投入を実施したほか、外注コストの増加等もあり、利益は前年同期比で減少となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高470,080千円（前年同期比8.7%増）、営業利益63,303千円（前年同期比8.1%減）、経常利益64,491千円（前年同期比6.7%減）、親会社株主に帰属する中間純利益47,355千円（前年同期比2.5%減）となりました。なお、当中間連結会計期間より「AI事業」が立ち上がったことから、従来の「KUSANAGI Stack事業」の単一セグメントから「KUSANAGI Stack事業」と「AI事業」の2つの事業セグメントとなりましたが、「AI事業」は重要性が乏しく、セグメント別の記載は省略しております。

また、当社は2025年12月26日にGMOインターネットグループ株式会社（以下、GMOインターネットグループ）にグループジョインいたしました。GMOインターネットグループと当社は、これまで、それぞれの強みを磨きながら成長してきましたが、当社のGMOインターネットグループへの参画により事業上のシナジーが強化され、両社の技術・基盤を掛け合わせることで顧客企業のデジタル基盤の強化とAIを活用した業務効率化を同時に実現し、日本企業のDX推進への貢献ならびに今後の両社の中長期的な企業価値の向上を図ることが可能になると考えております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は1,334,847千円となり、前連結会計年度末に比べ96,958千円減少いたしました。これは主に、配当金の支払等により現金及び預金が92,503千円減少したことによるものであります。固定資産は247,694千円となり、前連結会計年度末に比べ72,948千円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産が48,028千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は1,582,542千円となり、前連結会計年度末に比べ24,010千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は170,688千円となり、前連結会計年度末に比べ12,416千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が10,879千円増加したことによるものであります。固定負債は13,349千円となり、前連結会計年度末に比べ12,536千円減少いたしました。これは長期借入金が12,536千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は184,037千円となり、前連結会計年度末に比べ119千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,398,504千円となり、前連結会計年度末に比べ23,891千円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当等により利益剰余金が29,908千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は88.4%（前連結会計年度末は88.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より92,503千円減少して1,192,121千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は70,888千円(前年同期は75,674千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益64,491千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は74,075千円(前年同期は53,731千円の使用)となりました。これは主に、敷金の差入による支出46,960千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は90,548千円(前年同期は162,714千円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額77,138千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年4月13日に公表しました「決算期(事業年度の末日)の変更に伴う通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,284,625	1,192,121
売掛金及び契約資産	99,167	88,125
仕掛品	321	31
前払費用	43,720	51,510
未収入金	2,417	330
その他	1,553	2,728
流動資産合計	1,431,806	1,334,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,182	3,182
減価償却累計額	△879	△2,254
建物及び構築物（純額）	2,303	928
工具、器具及び備品	9,842	10,249
減価償却累計額	△7,313	△8,184
工具、器具及び備品（純額）	2,528	2,065
有形固定資産合計	4,832	2,993
無形固定資産		
特許権	7,146	5,131
ソフトウェア	6,112	4,430
その他	24,267	54,724
無形固定資産合計	37,527	64,285
投資その他の資産		
長期前払費用	33,434	30,217
繰延税金資産	5,119	4,592
その他	93,832	145,605
投資その他の資産合計	132,386	180,414
固定資産合計	174,746	247,694
資産合計	1,606,552	1,582,542

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当中間連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,306	31,458
1年内返済予定の長期借入金	36,431	30,871
未払費用	37,783	38,086
未払法人税等	9,975	20,855
契約負債	11,739	14,542
その他	32,035	34,875
流動負債合計	158,272	170,688
固定負債		
長期借入金	25,885	13,349
固定負債合計	25,885	13,349
負債合計	184,157	184,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	453,798	456,141
資本剰余金	413,932	416,275
利益剰余金	589,868	559,960
自己株式	△43,843	△43,843
株主資本合計	1,413,755	1,388,533
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,639	9,970
その他の包括利益累計額合計	8,639	9,970
純資産合計	1,422,395	1,398,504
負債純資産合計	1,606,552	1,582,542

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

	(単位：千円)	
	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
売上高	432,646	470,080
売上原価	189,065	216,226
売上総利益	243,581	253,853
販売費及び一般管理費	174,709	190,550
営業利益	68,872	63,303
営業外収益		
受取利息	812	1,609
その他	—	4
営業外収益合計	812	1,613
営業外費用		
支払利息	482	377
その他	78	48
営業外費用合計	561	425
経常利益	69,124	64,491
税金等調整前中間純利益	69,124	64,491
法人税等	20,573	17,136
中間純利益	48,550	47,355
親会社株主に帰属する中間純利益	48,550	47,355

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)
中間純利益	48,550	47,355
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,016	1,330
その他の包括利益合計	△2,016	1,330
中間包括利益	46,534	48,685
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	46,534	48,685

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年12月 1 日 至 2025年 5 月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年12月 1 日 至 2026年 5 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	69,124	64,491
減価償却費	5,857	6,137
受取利息及び受取配当金	△812	△1,609
支払利息	482	377
売上債権の増減額 (△は増加)	10,121	11,111
棚卸資産の増減額 (△は増加)	7,605	290
仕入債務の増減額 (△は減少)	△662	1,152
前払費用の増減額 (△は増加)	2,785	△9,902
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△64	3,217
未収入金の増減額 (△は増加)	2,750	2,061
未払費用の増減額 (△は減少)	△395	△2,445
その他	172	1,309
小計	96,964	76,192
利息及び配当金の受取額	720	1,634
利息の支払額	△482	△377
法人税等の支払額	△21,527	△6,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,674	70,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△844	△403
無形固定資産の取得による支出	△2,887	△26,711
敷金の差入による支出	—	△46,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,731	△74,075
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△22,032	△18,096
株式の発行による収入	13,175	4,686
自己株式の取得による支出	△61,104	—
自己株式取得のための預け金の増減額 (△は増加)	△18,777	—
配当金の支払額	△73,976	△77,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,714	△90,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,905	1,232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△142,677	△92,503
現金及び現金同等物の期首残高	1,399,005	1,284,625
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,256,327	1,192,121

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

当社グループは、「KUSANAGI Stack事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年12月1日 至 2026年5月31日)

当社グループの報告セグメントは「KUSANAGI Stack事業」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。